

令和 6 年度モニタリングシート

【施設名等】

施 設 名	大洲家族旅行村 オートキャンプ場	位 置	大洲市菅田町大竹乙 938-1
指定管理者名	株式会社おおず家族村	所管課	観光まちづくり課 Tel 0893-24-1717

【施設の概要】

設置年月日	平成2年4月1日	構 造	木造平屋建ほか公園施設
設置目的	恵まれた自然環境の中で、家族や小グループが楽しめる観光レクリエーションの場を確保し、もって健康及び福祉の増進と地域振興に資する。		
施設機能	オートキャンプ場 ・キャンプサイト 16サイト(うち電源付き2サイト) ・コテージ 2棟(6人用)、2棟(8人用) ・管理舎 ・炊事棟 ・便所 ・帯施設 車路、バーベキュー施設、倉庫等 ピクニック緑地 ・スロープガーデン ・じゃぶじゃぶ池 ・ファミリー園地 ・ファミリーガーデン(果樹園、園路、東屋2基) ・見晴らし広場 ・ちびっ子広場 ・管理棟(事務所、便所、休憩室、機械室)		
利用料金等	テントサイト1サイト 2,200 円 コテージ 6 人用 11,000 円～ コテージ 8 人用 13,200 円～ その他レンタル用品、販売品など		
開館・閉館	営業時間 8:30～17:00 ただし利用者のいる場合は 24 時間常駐		
指定管理 業務内容	(1) 施設の管理運営に関すること (2) 施設及び設備並びに備品の維持管理に関すること (3) 誘致及び施設の利用促進に関すること (4) 施設の利用許可に関すること (5) 利用料等の収受に関すること (6) 情報発信事業に関すること (7) 施設賠償責任保険に加入すること (8) 利用者の安全の確保に関すること (9) 個人情報保護に関すること (10) 業務報告に関すること (11) その他管理運営に関し必要な業務		
施設管理体制	常勤2名 パート2名 宿直パート 1 名		

【施設利用者数】

(単位:人)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
R 6 年度	528	423	444	267	675	209
R 5 年度	566	470	346	299	618	288
比 較	▲38	▲47	98	▲32	57	▲79
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
295	487	254	140	97	318	4,137
374	409	212	163	153	363	4,261
▲79	78	42	▲23	▲56	▲45	▲124

【指定管理者としての収入・支出(決算)】

(単位:円)

収入内訳	収入金額	支出内訳	支出金額
指定管理料	8,558,000	仕入高	655,002
売上高	7,341,910	人件費	8,353,206
自販機売上	188,000	水光熱費	1,907,472
利息	1324	通信費	124,658
前年度売掛金	83,400	消耗品費	474,771
		修繕費	268,066
		その他経費	4,118,101
(前年度繰越金)	1,568,184	(次年度繰越金)	1,712,476
(預り金増加分)	0	(次年度繰越売掛金)	41,650
		(預り金減少分)	85,416
合計	17,740,818	合計	17,740,818

【サービス向上に向けた取り組み】(最近 5 年間)

R2 年度	新型コロナウイルス感染対策(消毒液、使い捨てスリッパ設置、除菌清掃など) キャンパー向けサービスとして、キャンプステッカーボード設置、脇川トーチ販売、 焚き火台、竹灯籠用キャンドル購入など 焙煎珈琲の販売、電子レンジとケトル設置
R3 年度	無料開放イベント年3回開催、四国アウトドアスタンプラリー参加 キャンプ場文庫開設(無料貸出しなど)、コテージテラスに防火シート設置
R4 年度	南予きずな博きずなカード特典サービス DIY 工作キット販売開始 銘柄まき、まき割台販売開始 Paypay 払い対応開始、
R5 年度	キャッシュレス決済開始(クレジットカード決済、みきゃんアプリ決済) EV 車充電器設置に向けた準備 販売品目の拡充(冷凍焼肉セット、燻製ナッツ)
R6 年度	EV 車充電器設置 防災講習会(大洲市社会福祉ボランティア協議会) 販売品目拡充(冷凍食肉、肉巻きおにぎりなど)

【利用者から要望と対応状況】

利用者からの苦情・要望への対応
利用者からの苦情としては、ムカデ、カメムシ、蚊、スズメバチなどの害虫によるものがほとんどで、これには早めに防虫剤などを散布するなどし、極力発生を抑えるよう努めた。ゼロにはできないが、以前と比べると少なくなっている。 普段から利用者とのコミュニケーションを心がけ、積極的に声をかけるように努めた。定期的な巡回も実施しているため騒音や利用者間のトラブルはほとんどなかった。また防火の点からも夜間の巡回は入念におこなっている。 他の要望として以前からではあるが、施設のバリアフリー化や障がい者割引を設けてほしいとの声があった。割引に関しては今後検討していきたい。

【指定管理者の自己検証】

昨今のキャンプブームも落ち着いてきていて愛好者は定着している。売上げや利用者数についても気候による影響はあるが、比較的安定してきている。以前と比べると冬場のオフシーズンの利用が増え、反対に猛暑の影響もあって夏場の利用が減ってきている。 あまり広い場所を必要としないソロキャンプや女子キャンプの利用者が増える一方で、テントの大型化やキャンピングカー、トレーラーなどの増加で、今のサイトの広さでは納まりきらない場合もでてきており、課題となっている。解決策として、空きスペースを活用し、大型のテントやキャンピングカーのスペース確保について対応しており、これからも当面はこの対応を継続していきたい。また、新型コロナウイルス等の影響により、他のグループとの距離が近すぎると気にする方もいるため、空きスペースを活用することで、グループ間に適度な空間の提供ができ、多くの利用者に好評です。 これらのことをふまえて、今後は利用用途に応じたテントサイトの区画の見直しや料金の差別化などが必要といえる。料金に関しては、来年度 4 月から利用料金の値上げを予定しているが、ソロキャンプやコテージ少人数での料金は据え置きにしている。 利用者の中には焚き火をする方も増えてきている。一方で最近では山火事が多発しており、火災予防のためコテージテラスでの焚き火は全面禁止とした。またテントサイトでも時間制限や強風時の焚き火を禁止するなどして対応をしている。 来年度から指定管理委託料を増額していただいた。ここ最近増加している諸経費やスタッフを増やすなどの人件費に充てる予定にしている。またスタッフの拡充にともない今後は新たな自主事業にも積極的に取り組んでいきたい。
--

【施設所管課の検証・評価】

仕様書に基づき、適切に施設の管理・運営が行われている。シーズンを通してテントサイトの予約があり固定客を含む愛好者もいるが、近隣市町のキャンプ場新設やリニューアルオープン等により利用者の獲得が難しくなっていくことがあげられる。 そのため、周辺部の状況や世情など、利用者のニーズ等を把握していき、当施設ならではの魅力を活かして利用者の獲得に取り組んでいただきたい。 さらなるメニューの開発やイベント等の実施により、魅力向上を図るとともに、SNS 等を活用して、情報発信を図られたい。
--